学園の過去・現在・未来を身近に感じる

SINCE1965

学園を訪ねよう

平成18年3月26日（日）は ホームカミングデイ

ホームカミングデイとは、卒業生の方々に母校をお訪ねいただき、旧友や恩師に再会したり、今の学園を実際に見ていただき、学園の過去・現在・未来をより身近に感じていただくイベントです。

■ 時　間　　午前10時～午後4時半
※競技に参加される方は9時半に集合お願いします。
※総会から参加される方は11時半より受付開始です。

■ 会　費　　5,000円
（当日大学本館1階にて、お願いします。）
学生は無料です。学生証をご持参下さい。

■ 場　所　　金蘭千里高等学校・中学校にて

■ お申し込み　　別紙申込書ご記入の上、2月25日（土）までに
FAX（06-6872-7134）または郵送にてお願いします。

●当日の主なスケジュール●

● サッカー、バレーボール競技
10:00～ 11:30

チーム参加・個人参加どちらでも構いません。
9:30より大学本館1階にて受付します。
※詳細につきましては後日参加者にご連絡します。

● 総　会
12:00～12:40　佐藤記念講堂

理事長挨拶
尚友会会長の挨拶および尚友会についての説明

● 懇親会
13:00～ 15:00　大学本館2F食堂

なつかしい恩師や他学年との交流をお楽しみ下さい。（同窓会も可）
球技大会参加者表彰や、サプライズな催し多数あり。

● 新校舎見学
15:00～ 16:30

同じ期の方々との楽しいひとときをお楽しみください。
随時、解散され、2次会などいかがですか…

お問い合せ

学校法人　金蘭千里学園　尚友会
〒565-0873
大阪府吹田市藤白台5―25―2　TEL　06―6872―0263
ホームページ　http://www.show-you-kai.com/
担当　尚友会事務局　まで

YEARS1965-2005

● EVENT

キャンプ活動

五月一八日（水）中三大山キャンプを皮切りに、三週間に渡り、総合学習の一環として野外活動キャンプが実施されました。

高二　乗鞍・上高地キャンプ

中三大山登山では、頂上に着いたときの達成感と心地よい冷気に心と身体を癒されました。

本校でのキャンプを初めて体験した中一生、真新しいジャージに大きなリュック、期待に胸を膨らませ登校してくる、しかし実際にテント設営・野外炊事では相当苦労した様子でした。

本校キャンプのメインである高二乗鞍・上高地キャンプ、澄みきった空気・青い空・白樺林・小川のせせらぎ、それらを身体一杯受け入れながら一ノ瀬園地（キャンプ場）へ。

梓川の透き通った水の色、穂高岳の緑とその残雪の白、そして空の青さは息を呑むほどに美しくこれまでにない感動を覚え、自然の素晴らしさ・偉大さを感じ終了しました。

各学年天気に恵まれ、初期の目的を達成し、参加生徒全員無事帰校しました。

キャンプ活動を通じ、環境学習は勿論のこと、共同生活での自主性・協調性・責任感・友愛心など多くを感じ・学んだと思います。これらの体験・経験を今後の学校生活に生かして欲しいと思っています。（関）

高中祭

好天に恵まれ、十月二日（日）予定通り高中祭が行われた。校舎改築の為、グラウンドの一部が使えなかった昨年とは違い、グラウンド全面を使った迫力ある入場行進の先頭を行くのは、旗手を務める高三生の夏目君。「最後の高中祭で先輩方が受け継いでこられた校旗を持ち、全校生徒の先頭に立ち行進できたことは大変光栄でした」と振り返ってくれた。校長からの開会の言葉に続き、「全校生の前で宣誓をするという大役に大変緊張した」という高三生、青山君・濱名さんの宣誓の後、競技が開始された。

高　中　祭

グラウンドではサッカー、体育館ではバレーボールの熱戦が繰り広げられ、佐藤記念講堂では中一・高一生や音楽部による発表が、今年も多くの観衆を魅了していた。

本年度の四月に新築された真新しい校舎では、視聴覚企画グループによる短編映画の上映、美術部の作品展示、海外研修やキャンプの活動報告の他に、今年誕生した文芸部の機関誌展示や生物部による解剖実験、光の広場ではキャンプファイヤーの模擬演技等も行われ、例年以上の賑わいを見せていた。

また大会議室では中三生の校内英語暗唱大会の予選も行われており、スポーツ・文化両面における幅広い生徒諸君の活動を見ていただくよい機会になったと思う。新校舎の見学も兼ね、卒業生や保護者、入学希望者も大勢来校され、実り多い高中祭となった。（谷本）

国立民族学博物館見学学習会

昨年度から総合学習の一環となった中学三年の国立民族学博物館見学は、今年度で十四回目を迎えた。十月八日（土）の見学に際し、生徒たちは夏休みに各自が選んだテーマに従ってレポートを書き、九月三十日には民族学博物館の先生の講演を聴くなどの準備をしてのぞんだ。今年の講演は、毎年講演をお願いしている松山利夫先生のご厚意で、博物館外国人客員研究員として来日していた、ジョン・マンジン先生からアボリジナルの絵画についてのお話を、松山先生の通訳で直接拝聴するという好機を得た。ジョン・マンジン先生自身アボリジナルであり、内側からみたアボリジナルの美術を語って頂いた。

見学当日は、あいにくの雨であったが、生徒たちは4～6名ずつの班に分かれ、事前レポートと同じテーマと地域に従って見学を行った。生徒たちは限られた時間の中で、メモを取ったり、写生をしたり、ビデオで道具の使い方や儀式の確認をしていた。この成果は、衣・食・住・宗教・儀式・生業・美術・音楽などのテーマに従って班レポートとしてまとめられた。

他民族の文化についての知識を深め、我々との相違を知り、それを認めることで、真の国際化への第一歩となってくれることを期待したい。（平野未）

第三回金蘭千里英語コンテスト

十月二十六日（木）五，六時間目を使って、金蘭千里英語コンテストが開催されました。校内英語コンテストとしては三回目で、今回は中学生全員が参加し、保護者の方もご招待しました。

今年のプログラムは、中一によるクラス単位のコーラス暗唱、中二によるクラス代表のグループの寸劇、中三による個人の暗唱の三部構成でした。中三の出場者は高中祭の予選を通過しています。

中一の暗唱の題材は、「スイカ泥棒」もしくは「金の斧、銀の斧」で、中二の寸劇の題材は、「裸の王様」もしくは「毒入りの壺（狂言―附子より）」でした。中三は自分の好きな題材を選びました。

中一・中二の優勝クラスには金の鷲、準優勝クラスには銀の鷲のトロフィーが、中三の入賞者にはカップが贈られました。鷲のトロフィーは、次の学年へと代々受け継がれていくべきものです。

いずれの学年も、感動するほど素晴らしい出来映えでした。（石井）

徒歩訓練

本年度の徒歩訓練は、十一月二日（水）箕面山・勝尾寺を中心としたコースで予定通り実施されました。天候にも恵まれ、本年度最後の野外活動に相応しい一日となりました。

この徒歩訓練では、学年・男女により分けられたコースを5～8名の班毎に、班長を中心として、地図を片手に6～7カ所のチェックポイントを通過し、制限時間内に帰校します。各コースの内容は、

Aコース　中一全員（19・3㎞を5時間～5時間30分の間）
Bコース　中二全員・中三～高校女子生徒（19・5㎞を5時間5分～5時間35分の間）
Cコース　中三～高校男子生徒（23・5㎞を5時間30分～6時間の間）

となっています。

徒歩訓練はその名の通り訓練ですので、決して易しいことはありませんが、長い歴史の中で考えぬかれたコースは、それぞれの体力に適したものとなっています。生徒達は、制限時間内に帰着することは勿論のこと、歩行態度・服装・交通マナーなども含めて採点され、後日成績が発表されます。

本年度は、晩秋にもかかわらず暖かい日が続いていたこともあり、例年の様な紅葉には少し早いながらも、日常接することの少ない、自然の豊かさを肌で感じた一日となりました。又、班単位となるこの活動では、チームワークが大切になります。お互いに助け合い、励まし合いながら、大きな事故・怪我もなく全員無事に学校へ戻って来ました。（中尾）